

横須賀市とバラトプル市で 「人材の送り出しなどの相互支援に関する覚書」を締結

背景

- 少子高齢化等の影響により、企業の人手不足が深刻化
- 市内雇用を促進するため、合同企業就職説明会の開催など、市内での人材確保を支援する一方で、「技能実習」や「特定技能制度」による外国人材の受入れを支援
- 世界的に人材獲得競争が激化すると予想される中、2019年に横須賀市長がネパール連邦民主共和国のバラトプル市を訪問し、覚書を締結
- 安定した人材ルートを整備を進めている



左) バラトプル市長 右) 横須賀市長

横須賀市の取組み

横須賀市の枠組みのメリット

入国までの支援

- ネパールの送り出し側の源流から確かな人材を確保
- 現地日本語学校で学び、一定の日本語水準さらに職業別のトレーニングも実施
- 「技能実習生」であれば、監理団体「特定技能」であれば、登録支援機関の支援を受けることが必要ですが、これにかかる入会費等のインシヤルコストの一部を市が補助(補助率1/2 上限5万円)

入国後の支援

- 横須賀商工会議所と連携して、外国人材が無料で受講できる日本語コミュニケーション講座を実施
- 採用後のネパール人の生活相談を横須賀市に拠点を置くNPOと連携して実施(母国語で相談に乗ることで、失踪等のリスクを軽減)
- 市内事業所様からの相談事についても横須賀市でヒアリングを行い、将来的な施策に反映

